学校支援の取組事例

文部科学省では、未来を担う子供たちを健やかに育むために、学校・家庭・地域が連携協力し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的として、平成23年度「優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰」を実施し、東京都では、3地区[杉並区、葛飾区、小平市]の取組が受賞しました。

そこで、今回はその取組について紹介します。

杉並区　「杉並区立井草中学校」の学校支援の取組について

特徴

平成16年度から土曜日学校として「ＩＳＳ(井草サバイバルスピリッツ)」活動を開始し、その後、平成17年度「放課後の居場所“ホッと”すぺーす」、平成18年度「学校支援地域本部“○”[えん]」を立ち上げ支援活動を拡大してきました。

また、平成19年度には、学校運営協議会と学校支援地域本部“○”により井草中学校の教育支援を充実させ、学校支援だけでなく、生徒による地域活動の支援も行い、地域の町会・商店会などとの結び付きも深めています。

さらに、平成21年度、学級サポーター(愛称:コミ担)制度も新設し、生徒・保護者・教員全ての応援団として、学校行事の応援、保護者会参加、ゲストティーチャーとして授業に参加するなどし、教員とともに地域ぐるみで生徒を育てています。

そして、取組に当たっては、学校と地域のフラットな関係により、双方向のコミュニケーションを大切にしています。

● 主な活動内容（平成22年度）

図書館サポート、資格取得サポート、キャリア教育、道徳授業等の支援、地域の祭・イベント、児童館のイベント、高齢者施設訪問、地域総合防災訓練等の生徒の地域奉仕活動支援

ＩＳＳは、月2回土曜日定例の活動の他、日曜日も地域行事があれば活動しています。

児童館行事でのボランティア活動の様子

● 地域の機関・団体との連携協力

町会・商店会・青少年育成委員会・地域区民センター・保健センター・青少年委員・主任児童委員・保護司会・杉並ユネスコ・城西ロータリークラブ・日本語学校・児童館・近隣高等学校・子供文化ＮＰＯ・地域教育連絡協議会・早稲田大学ラグビー部等諸団体・上井草スポーツセンター・高齢者施設等と連携しています。

● 地域ボランティアやコーディネーターの活動状況

図書館サポーター、資格取得サポーター、井草フェスティバル、キャリア教育、道徳授業等のゲストティーチャーとして保護者が参加したり、学生ボランティア(本校卒業生)による生徒地域活動支援、学習支援をしています。

また、ＰＴＡのＯＢ、おやじの会、青少年委員、町会役員、商店会役員及び同窓会役員が生徒の地域活動を支援しています。活動日数は月平均15日です。

コーディネーターの役割としては、上記活動を実施するに当たり、企画を行うとともに地域団体、学校、学生ボランティアなど、関係者との連絡調整等を担っています。

地域との連携による防災訓練への参加

● 組織・運営について

◆学校運営協議会[月１回]
◆学級サポーター(コミ担)会議[月１回]
◆学校支援地域本部会議[月１回]
(ＰＴＡのＯＢ等、地域コーディネーター、同窓会役員、おやじの会役員等、本校卒業生学生ボランティア、地域スポーツ等育成者、青少年委員、主任児童員、町会役員など幅広く参画しています)

● 取組の効果について

地域の方々が学校に来て、直接生徒とふれあい教育をすることにより、学校とともに子供たちを育てようとする機運が生まれ、学校教育の深い理解者となり、主体的に、生きがいを持って学校教育を支援していただけるようになりました。

また、地域行事に参加し、地域に愛着を持つ生徒が育っており、地域からも活気が出てくると感謝されています。

地域一体となって、子供を育ててくれるようになるとともに、中学生を介して学校と地域との結び付きが強まりました。